



リュウゼツラン

スツウプナカ
巖か
行う！



the most beautiful
villages
in japan

多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。

産業共進会・納税奨励式

大木区13年連続優勝



▲個人特別賞を受ける宮城行雄さん

平成25年度産業共進会・納税奨励式が去る6月4日に塩川集落センターで開かれた。農事と納税の総合成績で大木区が13年連続で優勝した。

村役場の仲宗根春光経済課長から一年間の経過報告が行われた後、伊良皆光夫村長から大木区へ優勝旗が手渡された。また各部門で農事・納税で各団体及び成績優秀農家を表彰した。

式辞で伊良皆村長は「産業共進会は、その歴史は古く国内においては、各地方の代表的な物産や技術を一堂に集め、一般の観覧に供するとともに、生産者、販売者が優劣を競い品質改良、産業振興を図る目的として明治初期から開催されてきた。沖縄では「原山勝負」とよばれるようになり、農業振興を目的に各地に広がって開催されてきた。

本村の平成25年度農業生産販売額は、11億2千6百万円の豊作型となり、生産農家の目頃からの努力の成果であり感謝申し上げる。畜産においては、高値販売が続き初の5億8千万円を突破し、葉たばこ作は7千4百万円余となりました。

「水あり農業」の実現に向けた国営事業調査も今年度が山場であり、地元住民の熱意にかかっている。村民一丸となり実現しよう！また、サトウキビ全農家を対象としたエコファーマー（環境にやさしい環境保全型農業）認定に向け、全国的にも初の試みであり、認定を受けると多良間産黒糖の安心安全を国内外にPRでき、知名度も高まる。また観光に大いに寄与でき、島の振興発展につながるものと期待している」と式辞を述べた。

この日式場では「村の花」たらま花（紅花）の特産化に向けPRしていこうと、たらま花保存会（佐久本洋子会長・会員約20人）は、たらま花を使用したご飯のおにぎりやお茶等の試食を行った。



▲13年連続優勝の大木区（中央は伊良皆村長）

以下団体・個人表彰者

農事総合成績		納税総合成績		農事納税総合		サトウキビ多収穫		サトウキビ甘蔗糖度			
順位	区 名	順位	区 名	順位	区 名	順位	氏 名	生産量	順位	氏 名	生産量
1位	大木区	1位	宮良区	1位	大木区	1位	高江洲昭男	428トン	1位	狩俣 雅秀	15.10度
2位	津川区	2位	土原区	2位	津川区	2位	大城 久	314トン	2位	渡口 成三	14.96度
3位	大道区	3位	天川区	3位	宮良区	3位	渡口 直和	288トン	3位	知念 信雄	14.64度

サトウキビ反収			葉たばこ多収納			葉たばこ品質		畜産（肉用牛）		個人特別賞
順位	氏 名	生産量	順位	氏 名	生産量	順位	氏 名	順位	氏 名	氏 名
1位	石原 雅幸	11.6トン	1位	知念 三雄	7.1トン	1位	新里 勝美	1位	豊見城玄弘	宮城行雄さん （畜産共進会より）
2位	糸洲 朝哉	11.4トン	2位	垣花 幸徳	4.1トン	2位	嘉味田玄常	2位	仲本 正和	
3位	泉川 春雄	11.1トン	3位	新里 勝美	4.0トン	3位	知念 三雄	3位	湧川 農	

第16回通常総会

宮古和牛改良組合多良間支部

家畜市場取引「5億円余を突破」

平成25年度	月別最高値で出荷
H25・4月	東風平正明 →497,000円
6月	波平栄子 →521,000円
8月	村山武範 →540,000円
10月	知念幸子 →542,000円
11月	豊見城玄弘 →637,000円
1月	宮城行雄 →606,000円
2月	友利哲市 →543,000円

去る5月12日、宮古和牛改良組合多良間支部（村山武範支部長）は、平成25年度事業報告・決算及び平成26年度事業計画・予算案を全会一致で承認した。多良間支部の会員は79名おり、繁殖用雌牛が1844頭、全体で3200頭余飼育されている。

畜産農家が減少しつつある中、平成25年度は、多良間家畜市場5億8千万円余の販売があった。

国内の畜産情勢は、全国的な素牛不足等の影響により子牛価格は高値取引で推移する状況にある。平成25年度多良間市場においては、子牛1頭当たりの平均価格は去勢で462千円、雌で399千円、販売頭数では1,295頭であった。

多良間支部は、肉用牛を取り巻く環境は将来厳しい状況になる事が予想されることから、1戸1頭増頭の実践、計画交配の徹底、飼養管理技術の向上・発育の優れた素牛生産地の確立を図っていくと支部の意気込みを見せた。

第8回多良間島ピンダアース大会

～迫力あるヤギのぶつかり合いに歓声～

琉仁マブヤー1号が初の4連覇(重量級)



▲軽量級で優勝した 長山2号

第8回『多良間島ピンダアース大会』が5月3日(土)、多良間村多目的広場において開催され、3つの階級に18頭が出場した。

今大会から階級が増え、軽量級(40kg以上55kg未満)、中量級(55kg以上70kg未満)、重量級(70kg以上)となった。軽量級に7頭、中量級に5頭、重量級に6頭の合計18頭が出場した。

新設された軽量級では、下地雅晴氏飼養の『長山2号』が、渡口直和氏飼養の『とうんとうる号』との決戦を制して初めてのチャンピオンとなった。

中量級では、前回初優勝の清村隆男氏飼養『ヤギハチ号』が、運天辰男氏飼養の『荒鷲号』との決勝戦を制して2連覇を達成。

重量級では、3連覇中の知念正勝氏飼養『琉仁マブヤー1号』が、運天辰男氏飼養の『天龍号』との頂上決戦を制し、見事大会史上初の4連覇を達成した。

今大会では、初の試みとして『ヤギの鳴きまね大会』が行われ、多くの観客を楽しませた。

また、(株)宮古テレビからは副賞として各階級の優勝ピンダに賞金が贈られ、大会を盛り上げた。

次回の『第9回大会』は、10月12日(日)に開催される予定である。



▲宮古テレビから副賞が贈られた！

節祭「スツウプナカ」 五穀豊穡と島の繁栄を祈願



▲客を招待し囃し歌で豊年を願う



▲各井戸に豊年豊作を祈る



▲海人座から上げられた魚でカマボコを作る



▲海人座から大漁の魚が上がる

去る5月21日から3日間スツウプナカが厳かに執り行われた。祭り60日前に予算会(3月23日)が行われブシヤは薪割りから始まる。祭り前日から海人座が漁を行い、長瀬川宗根(ナガシガーシユニ)、札屋宗根(フダヤーシユニ)、南宗根(アイシユニ)、新池宗根(アレーキシユニ)の4つの祭場では各座が準備に掛かる。

21日の夜、長老たちは4つの祭場において「暁の願い」(アカツキニガイ)が行われ、初の穀物や海の幸、山の幸(畑)を供え、島の神々に実りの報告と来年への豊作を祈願した。

このスツウプナカの祭りは1983年に多良間村の無形民俗文化財に指定された。また、感謝と共に豊年を願うスツウプナカは、農漁業が主産業である多良間村においては重要な祭事で、村をあげて豊年(ゆ

がぶう)に感謝し祈る心が脈々と生き、継承されていることから、伝統文化の継承等々々の生活の営みが認められる団体として、平成25年度に「沖縄ふるさと百選」の集落部門に認定された。



▲祭最終の朝、ヘンシュー

第67回多良間村職域親善バレーボール大会

湧川畜産 2連覇なる!

去る5月10日第67回多良間村職域親善バレーボール大会が、多良間中学校体育館において開催された。

この大会は、村内の各職場が交流を深め、村発展へ繋げていこうと毎年主催を持ち回りで開催されている。

7職場10チームで大会が開催され、お互い優勝を狙い白熱した試合となった。決勝戦では村役場Aチーム対湧川畜産チームが決戦となり、僅差で湧川畜産が2連覇を果たした。

惜しくも優勝を逃した役場チームの本村さんは、来年はゼツタイ優勝すると意気込みを見せている。

大会終了後は、中学校体育館において盛大に懇親会が行われた。次回大会は宮古製糖多良間工場が主催となる。

多良間診療所・金城元気先生の紹介



多良間の皆様、こんにちは。既にご存知の方もいらっしゃるかと思います。4月から、前任の外間先生が南部医療センターに転勤され、交代で多良間診療所に赴任しました金城元気（キンジョウゲンキ）と申します。出身大学は自治医科大学でこの診療所にもいた安谷屋先生（現八重山病院）や岸本先生（現南部医療センター内科部長）、崎原先生（現離島医療振興協会支部長）の後輩になります。

多良間に赴任する前は県立中部病院でプライマリケア医として研鑽を積んで参りました。多良間の皆さんに医療という形で多くの貢献ができればと思います。島のことはまだまだ、知らないことが沢山あります。ぜひ、いろいろなことを教えて下さい。よろしくお願ひします。

心肺蘇生講習会を行います!

日時：平成26年7月9日（水） ①16時から ②18時から
場所：多良間小学校体育館

今年は本島から救急の専門医師、救急救命士を多良間に招いて、心肺蘇生講習会を行います。皆さんは、家族の意識がなくなった時、心臓が止まっているかもしれない!!と思った時、すぐに上手に心臓マッサージを行える自信がありますか?この講習会では、心臓マッサージが上手にできるようになるための講習を行います。家族が倒れた時、いちばん近くにいるのは皆さんです。ぜひ講習会に参加して、上手な心臓マッサージができるようになって下さい!

広報たらま
寄付金のお礼

比嘉 静枝様（沖縄県南城市在） 宮国 朝好様（大阪府堺市在）
ありがとうございました。

寄付金のお礼
泉川 常仁・泉川 トシ様 多良間村天川区
ありがとうございました。

ごあいさつ

八重山在多良間郷友会
会長 山城 吉博



▲運動会では伊良皆村長・中山石垣市長も参加

八重山在多良間郷友会は、昭和二十二年に結成され三十周年記念式典、五十周年記念式典を開催し、節目の記念事業の一環として会員の思い出・会活動の記録等を保存し将来に資するため、記念誌を発刊し郷友という名の絆で深く結ばれています。

八重山在多良間郷友会は一世を中心に関与者が築いた歴史ある郷友会です。今では二百世帯千人の会員で組織されており、八重山には多良間関係者が三千人はいるといいます。一世の先輩方はもちろんのこと、二世・三世の会員の皆さんが「育つ島に栄える」多良間島のことわざ

にあるように、八重山各地域でそれぞれの分野において大いに活躍しております。

今年平成二十六年三月二十三日、村制施行百周年の記念事業の一環として、明和の津波後の深刻な飢餓を救うため石垣の皆さんから食糧支援を頂いた史実に感謝の意を表し「感謝の碑」が石垣市中央運動公園内に建立できた事は八重山在多良間郷友会にとっても慶びであります。

石垣市主催の平成二十六年度、明和津波遭難者慰霊祭が四月二十四日に執り行われた慰霊祭場には、多良間村から石垣市に贈呈した「感謝の碑」の碑文と記念碑除幕式の写真が掲示され「感



▲本村雅明さん縄ないに夢中!

謝の碑」について司会より公表され、式では代表献花の最後に八重山在多良間郷友会長として、明和津波による犠牲者の御霊が永久に安らかになることをお祈り申し上げます。

「感謝の碑」の碑文は石垣市役所玄関入口に於いて五月まで掲示してあります。

第二十回多良間村各郷友会、交流グラウンドゴルフ大会に際しては七十名の会員で参加する予定でしたが、悪天候のため船便が欠航し石垣からの参加が無理な状況になり、また、「多良間島サミット」で伊良皆村長、各郷友会長等との情報交換の場に参加できなくて大変残念でありました。次期大会に向け大いに期待したいと思います。

第四十三回親睦大運動会が六月八日(日)、沖縄県立八重山特別支援学校運動場にて、多良間村長伊良皆光夫様、石垣市長中山義隆様にご参加していただき、会員相互の健康増進を図り、レクリエーションをとおして互いの親睦を深めながら団結を図ることができたことに心より深く感謝申し上げます。

結びにあたり、近いうちに石垣島・多良間間の飛行機直行便が運航されることを期待し、そ



▲大人も負けじと玉入れを!

して石垣市と多良間村の交流がさらに深まることと、郷友会の絆を強くし多良間村各郷友会ますますのご発展とご多幸を祈念申し上げますと致します。

「自己紹介」
山城吉博
昭和二十六年 六月生 六十三歳
石垣市宇白保二六八―一二一
母 山城キク
(出身地・多良間 村字仲筋土原区)
伊良皆朝喜の長女(大正十年生
九十三歳)

在沖多良間郷友会
総会・敬老会

会員相互の絆を深める



▲右・本村会長から左・亀川会長へ引継ぎ、中央は伊良皆村長



▲多くの敬老者を招き祝った

去る5月18日、在沖多良間郷友会（本村博司会長）は会員大数の参加の中、平成26年度定期総会及び敬老会を那覇市内のホテルで催した。H25年度の活動・決算報告やH26年度の事業計画・予算案等を全会一致で承認した。次期会長に亀川博薫さん（字塩川大道区出身）を選任した。

新会長に選任された亀川さんは「大先輩方が築いてこられた礎を引き継いで行きたい。2500人の多くの会員が楽しく気軽に郷友会活動に参加出来る雰囲気をつくっていききたい。会員のご協力をお願いしたい」と抱負を述べた。亀川会長は6月から新体制でスタートする。

会場は敬老会へと移り、最年長者の奥平千代子さん（91歳）、来間トミさん（88歳）ご出席の下、敬老約50名の方々が参加し、古典音楽愛好会による（かぎやでいふう）で幕をあげ、青年部による棒おどりや琉舞など多彩な余興で盛り上がった。

本村会長は「今日は大先輩方が集い大変元気をもらいました。敬老の皆さんがますますの長寿と健康を祈念したい。今日は存分に愉快地満喫して下さい」とあいさつした。

来賓で参加した伊良皆光夫村長は「ぐしゅうよう！がんばろうしーわーりんべーん」と方言からはじまり、大正・昭和の時代の厳しい時代を乗り越えて来られた皆さんは、多良間島の宝であり誇りである。故郷への愛情あふれる思いを大事に受け止め、多良間村の発展に頑張りたい」と、敬老者の健康長寿を祝いあいさつした。

村長のたうけーむぬゆむ（ひとりごと）

6月1日はユッカヌヒーであった。ユッカヌヒーは旧暦5月4日に行われる。元々は、豊漁と航海安全を目的とした海神祭の一環として執り行われるもので、龍にみたてた船で競漕することから爬龍船競漕とも呼ばれるが、ハーリーとして定着している。各地の港町や漁村では盛大に行われにぎわう。

多良間では残念ながらハーリーはできなかつたが、イビの拝所で豊漁と航海安全、村民の無病息災、五穀豊稔を祈願した。イビの拝所には漁船組合の皆さん、素潜り愛好会の皆さんが朝の9時から集まり祈願し、ハーリー談義に花を咲かせた。来年は御願ハーリーを行うことも約束した。なかには、ユッカヌヒーの意味について魚が卵を産む日だと述べる方もいた。ところが、「しゅうふう」が生まれるのはユッカヌヒーから、一ヶ月あとらしい。祈願酒を廻し飲みしているうちにいだ（太陽）も高くなつた。カンカン照りだ。6月ともなるとさすがに直射日光はこたえる。木陰に移動だ。木漏れ日がさして風情がある。中層浮魚礁と漁船組合活動についても話は及んだ。

ハーリーは、今から約620年前に中国の福建省や広東省などから伝わったというのが定説とされている。しかし、沖縄のどこから始まったかについては、豊見城を発祥の地とする説と那覇を発祥の地とする説があるという。

また、ハーリーの起源については次のような話がある。

昔、王様が家来を集めこの世で一番何がうまいかと尋ねた。ほとんどの

家来は、一番は肉、野菜だと答えたが、一人だけ塩と答えた家来がいた。王様はふざけているとカンカンに怒り、どんぶり一杯の塩を食べさせた。その家来は、王様の仕打ちに絶望し、チービシへ逃げてしまった。

やがて長雨続きで塩が作れないようになり、王様の料理にも塩が使えなくなつた。毎食毎食味のない料理ばかりで王様はうんざりしていた。ある日お汁がとびきりうまいのでなぜか調べてみた。すると天井裏に置き忘れた塩が、雨漏れで溶け出し鍋におちていたのだつた。

王様は塩が一番おいしいと答えた家来を思い出した。そこで彼にあやまろうと王様が命じた3隻の船が、先を争いながら彼のもとへやってきた。そして彼を船に乗せたのだが、彼は長雨を止めようと自分の身を海へ投げてしまった。

そのことがあつてから塩が一番おいしいと答えた家来のために、ハーリーが行われるようになったという。

今年の多良間のハーリーは7月20日に行われる予定である。



多良間

限度額適用・標準負担額減額認定証 (減額認定証)について

●減額認定証とは？

後期高齢者医療の被保険者で住民税非課税世帯の方が療養(入院・外来・調剤)を受ける場合に、減額認定証を被保険者証に添えて医療機関の窓口で提示することにより、一部負担金限度額の適用及び入院時の食事代等が減額される証です。

減額認定証の交付は、広域連合にて認定された該当者については8月の定期更新時に被保険者証と同封します。

なお、初めて申請する時などは、原則申請手続きが必要になりますので、多良間村役場住民福祉課で被保険者証、印鑑をご持参のうえ、申請して下さい。減額認定証は申請した月の初日から適用となります。なお、代理人が申請に来る場合には被保険者証、被保険者本人の印鑑、代理人の方の身分証明書をご持参ください。

●住民税非課税世帯とは？

区分低Ⅰ：同一世帯の世帯員全員が住民税非課税であって、かつ、世帯全員が年金収入80万円以下(その他の各種所得が必要経費・控除を差し引いたときに0円)の方(減額認定証に「区分Ⅰ」と表記されます)

区分低Ⅱ：同一世帯の世帯員全員が住民税非課税の方(減額認定証に「区分Ⅱ」と表記されます)

*長期入院該当候補者の方

平成25年8月から平成26年7月の減額認定証(区分Ⅱ)に該当する期間のうち、入院日数が90日をこえる方は、申請するとさらに食事代が減額されます。申請を希望される方は、医療機関が発行した直近3ヶ月分の入院日数が確認できるもの(領収書など)を持参して市町村後期高齢者医療担当窓口にてお手続きください。

■減額認定証が交付できない方

○世帯構成員に所得不明者がいる方

世帯構成員に平成26年度の所得が不明の方(未申告者、市町村で申告の情報が無い方)がいる場合は、所得の定期判定ができません。交付を希望される方は世帯員全員の申告が必要となります。

7月28日は日本肝炎デーです

肝炎ウイルス検査はお済みですか？

1. ウイルス性肝炎は国内最大級の感染症

B型肝炎110万人～140万人(推計)

C型肝炎190万人～230万人(推計)

☆沖縄県はC型よりB型肝炎が多い

☆受検者からのB型肝炎陽性率は、全国0.8、沖縄県1.2、宮古保健所管内6.3で高率です。

2. 肝臓は「沈黙の臓器」

多くは自覚症状がないため、治療を受ける機会を逃すおそれがある
ウイルス性肝炎を放置すると、肝硬変や肝がんなどへ進行する

肝炎に
なっても
じっと我慢！



3. こんな人は検査を受けましょう

- 過去に健康診断で肝機能検査の異常を指摘されたが、肝炎ウイルス検査を受けていない方
- 母子感染予防策が実施されていなかった1985年(昭和60年)以前に生まれた方
- 家族に肝炎ウイルス保有者または肝がんの患者さんがいる方
- 1992年(平成4年)以前に輸血を受けている方
- 過去に一度も肝炎ウイルス検査を受けたことがない方

宮古保健所 B型肝炎・C型肝炎無料検査

電話：73-5074

肝臓週間：7月28日(月)～8月3日(日) 無料検査毎日(土日除く)

午前9時～11時 午後1時～3時 予約不要、迅速結果
※市町村や職場の特定健診でも検査を受けることができます

通常は毎週
火・木

4. 感染がわかったら

- ①肝炎ウイルスに感染していたとしても、ウイルス量や肝臓の状態は人によってまちまちです。
まずは医師へ相談、受診しましょう。
- ②経過観察のための定期受診を行い、治療開始のタイミングを逃さない。
- ③治療には医療費助成制度が利用できます。
- ④B型肝炎訴訟は、B型肝炎ウイルスに持続感染した方々への救済措置です。
対象は昭和16年7月2日～昭和63年1月27日までの出生の人で、満7歳になるまでの間に集団予防接種を受けたことがあり、母子感染ではない方々です。
県内の相談窓口は、沖縄合同法律事務所です。電話：098-917-1088

5月

世帯数と人口

(平成26年5月末現在)

総世帯数 528 (1)
総人口 1,256 (- 1)
男 675 女 581

区 別	人 口	世帯数
土 原	72 (0)	31 (0)
天 川	107 (0)	45 (0)
津 川	118 (1)	56 (1)
宮 良	85 (- 1)	33 (0)
嶺 間	148 (0)	65 (0)
大 道	197 (- 2)	90 (0)
大 木	306 (1)	117 (0)
吉 川	218 (0)	87 (0)
水 納	5 (0)	4 (0)
出 生	1	死 亡 1
転 入	3	転 出 4

誕生 () 内は前月比

字堀川 伊吉栄作・さつきさんの長男 栄真くん 平成26年4月27日

おくやみ

字堀川 親里 カマ 平成26年5月4日(98歳)

緊急ダイヤル

火 災 村 消 防 (79-2619) 119番
警 察 官 派 出 所 (79-2010) 110番
急病人 (1) 多良間診療所 79-2101
(2) 時間外 090-6862-6490
(3) 役場住民福祉課 79-2623
救急車要請 総務財政課(消防) 79-2619
歯科診療所医師 79-2162
停 電 沖縄電力多良間営業所 79-2147
断 水 役場住民福祉課 79-2623
家畜疾病 役場村づくり課 79-2503
ガス専用JA多良間 090-6859-2355

救急に関する こと(5月)

◆時間外救急受付
18件
◆救急車出動
2件
◆ヘリ搬送
2件
救急車要請：
79-2619
急病人時間外：
090-6862-6490

たらま島のむかし話③

「スツウプナカ」について

スツウプナカ祭りがいつから始まったかは定かではないが「ウイグスクカンドゥヌ」という人がおり、島の農業の指導者であり、また、働き者であり、広い面積の粟畑を持っていた。

ある年、粟の刈り入れに出て見ると、昨日まで穂垂れて実っていた粟が、一夜のうちに何者かに盗まれてしまった。その年ばかりでなく、このような事が2、3年続いた。カンドゥヌはもう我慢できないと畑に寝泊まりし、犯人の現れるのを待ち構えていた。すると刈り入れ時期の夜半、犯人らしき者が畑に入り込んで来た。近寄ってみると人間ではない、四つ足

の黒い動物が数頭、粟穂を食い荒らそうとしていた。

カンドゥヌは怒って、用意してあった棒を振り回しながら動物の中へ飛び込んで行ったところ、一頭の動物がカンドゥヌに言った。「俺たちは竜宮の神の使いだ。おまえは作物を作るのは上手だが、その作物を見守り、育てている神々への感謝を知らない。順調な収穫を望むなら毎年収穫後の初物を供えて、竜宮の神や天の神・地の神・畑の神に感謝するがよい。」と言って消えてしまった。それからというもの、各神々へ収穫した初物を供え豊年豊作祈願祭を行ったと言われる。

編集後記

☆今年のスツウプナカも厳かに執り行われた。4つの祭場では各座が分担して諸準備に掛かる。3日間の中日に大雨に恵まれ、今年、来年も豊作が約束されたようだ。

☆宮古島気象台は5月の気象をまとめた。5月としては、多良間島は過去最高の雨量であった。5月10日に1時間で117.5ミリ、月間降水量は410.5ミリと過去最高を記録した。

☆数年ぶりに、キスバナリ海岸でリュウゼツランの花を確認した。近年、砂浜の海岸の浸食などにより減りつつある。リュウゼツランはメキシコ原産で熱帯・亜熱帯に分布する大型常緑の多年草である。十、二十年で四、八メートルの巨大な花茎を出して多数の淡黄色の花をつけ結実する。

☆むかしの話、枯れた花茎を何本も繋ぎ合わせイカダを作り海に浮かべて遊んだりもした。

☆次号郷友会長の記事は宮古在多良間郷友会の紹介です。

てるけん



広報たらまのCD-ROMを販売しています

多良間村役場では、「広報たらま」のバックナンバー

(平成8年11月～平成16年12月まで)を収録したCD-ROMを販売しています。

動作環境：Windows2000/XP/VistaなどWindows PC

■定価2,500円
(送料別)

詳しくは、多良間村役場 **0980-79-2011** まで。